

令和7年度 KYOTO Agri-Business Café プロジェクト 募集要項

1 事業の概要

京都市では、令和3年度に農家や民間企業、関係団体、大学、金融機関等の多様な主体が集まるプラットフォーム「KYOTO Agri-Business Café」を創設し、販路開拓、新たな農業関連ビジネスの創出や課題解決に向けた取組（以下、「プロジェクト」という。）を実施しています。

令和7年度のKYOTO Agri-Business Café事業において、農家や民間企業等の取組を伴走支援するため、プロジェクト等を公募します。

2 対象

KYOTO Agri-Business Caféに参画している農家（京都市内に限る）及び民間企業、関係団体、大学、金融機関等（以下、「事業者等」という。）

※ KYOTO Agri-Business Caféへの参画がまだの方は、[こちら](#)から御登録をお願いいたします。

3 募集するテーマ（詳細は次ページ以降を御確認ください。）

- (1) 京都市の農家をみんなで応援！「テストマーケティング」を通じた商品のブラッシュアップ&販路開拓
- (2) 市内で健康経営やSDGsに取り組む企業と連携した共創プロジェクト
- (3) みんなで耕す「京都市アグリビジネスカフェ」プロジェクト Ver.2
- (4) 自由提案枠

4 応募方法等

- (1) 応募方法

上記テーマごとの様式に必要事項を御記入のうえ、下記「提出先」までご提出ください。

- (2) 提出先

norinkikaku@city.kyoto.lg.jp（京都市産業観光局農林振興室 北脇、佐藤宛）までメールで提出してください。

- (3) 提出期限

令和7年5月16日（金）

5 選定方法

京都市農林振興室及び当事業の委託事業者による審査会を開催し、決定します。

6 事業スケジュール

- ・応募締切 5月16日（金）
- ・審査 5月下旬
- ・決定通知 5月末
- ・プロジェクトメンバーでの打合せ 6月頃
- ・第1回交流会 7月頃
- ・プロジェクトの実施
- ・第2回交流会 2月頃

※ 交流会にて、プロジェクトの概要や実施結果を発表いただきます。

※ 京都市や委託事業者との打ち合わせにご参加いただきます。

7 問い合わせ先

京都市産業観光局農林振興室 北脇、佐藤

電話：075-222-3351

メール：norinkikaku@city.kyoto.lg.jp

募集するテーマについて

次のいずれかにご応募ください。

- ◆ プロジェクトテーマ 1 ～ 3
- ◆ 自由提案枠

<募集するテーマ>

**テーマ 1：京都市の農家をみんなで応援！「テストマーケティング」を通じた商品の
ブラッシュアップ&販路開拓**

テーマ 2：市内で健康経営やSDGsに取り組む企業と連携した共創プロジェクト

テーマ 3：みんなで耕す「京都市アグリビジネスカフェ」プロジェクトVer.2

<自由提案枠>

京都の農業の課題解決や新しいビジネスの創出を目指し、令和7年度の目的や方針（新しいことに挑戦、みんなで何かに取り組んでみる）に沿うような取組を募集します。

テーマ1

京都市の農家をみんなで応援！「テストマーケティング」を通じた商品のブラッシュアップ&販路開拓

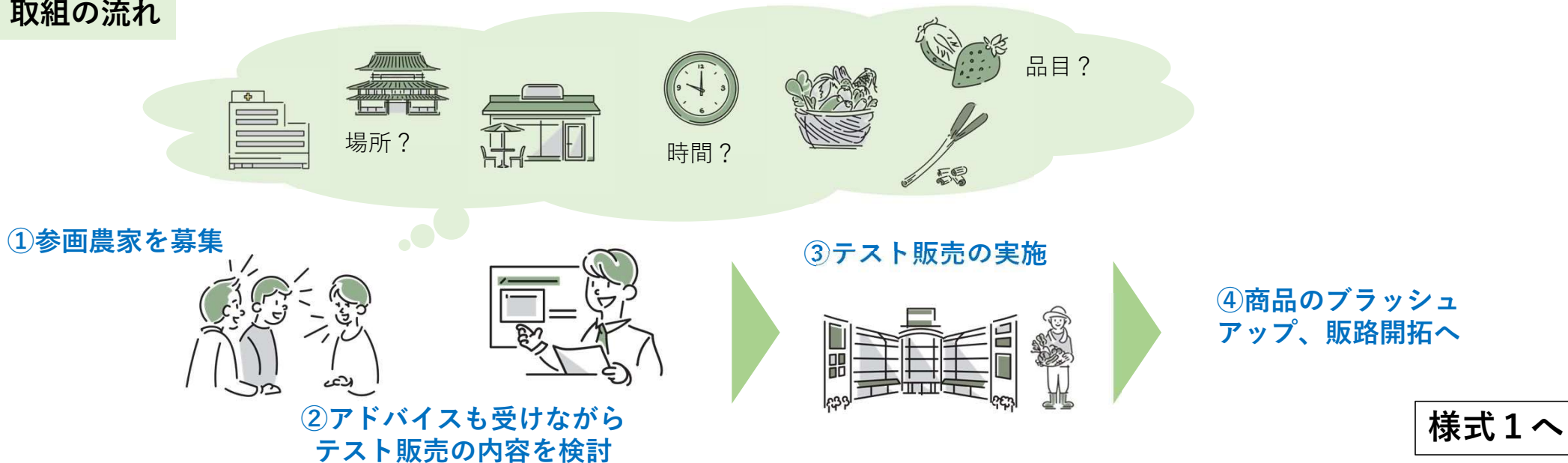
募集内容

◆ テスト販売を通じて商品のブラッシュアップや販路開拓をしたい農家を募集します。（令和6年度の継続テーマ）

目的

市内の農家を対象に、テストマーケティングを通じた商品のブラッシュアップや販路開拓に向けた実践機会を創出

取組の流れ



テーマ2

市内で健康経営やSDGsに取り組む企業と連携した共創プロジェクト

募集内容

◆ 健康経営やSDGsに取り組む企業と連携した新規事業の創出に取り組みたい農家を募集します。

目的 「新規事業の創出に取り組みたい農業者」を主な対象に、市内企業等との連携を図る。

取組の流れ



テーマ3

みんなで耕す「京都市アグリビジネスカフェ」プロジェクトVer.2

募集内容

農家、企業等の方が気軽に集まり、情報交換、つながりづくり、解決・実現を目指すコミュニケーション場において話したいテーマを募集します。（令和6年度からの継続テーマ）

目的

京都アグリビジネスカフェ会員を主な対象に、気軽に集まり、情報交換やつながりを作る。
令和6年度のプロジェクトの継続・発展を目指す。

取組の流れ



様式3へ

自由提案枠

求める提案内容

- ◆ 京都の農業が抱える課題の可決に向け、これまでの農業政策の枠にとらわれず、新しい農業のビジネスモデルを目指せるもの
- ◆ 多様な主体が参加し、みんなでチャレンジできるような取組

要件

- ✓ 事業実施主体は、次に掲げるすべてを満たす個人又は法人であること
 - ✓ 市内農家を1者以上含む多様な複数事業者で連携するチームとして提案すること
- ※ただし、アグリビジネスカフェ会員に広く呼びかけて参加者を募りたい場合はその旨を様式に記載してください。

例えば…

流通イノベーション 農作物の高付加価値化 経営イノベーション・経営強化・効率化

6次化・農商工連携 雇用・援農 スマート農業 農産物等の輸出

農業のサービス産業化 情報発信・PR 医福食連携

企業による農業参入

様式4へ

(参考) 令和7年度のKYOTO Agri-Business Caféについて

目的 イノベーションを起こすために、みんなで取り組む、チャレンジする、やる

- 方針**
- 農家の参画者を増やし、横のつながりを創出
 - 農家の意見を聴取、ニーズ・アイデアの深堀
 - 多様な主体によるプロジェクト参画

目的・方針は令和6年度と同様ですが、
令和7年度は「**チャレンジする、やる**」を
より重視します。

令和7年度プロジェクトで目指したいこと

- ◆ 「農家がより主体的に参画できるプロジェクト」の創出
- ◆ 新たな価値創出やイノベーションに向けて、
「農家が普段お付き合いのない企業」との連携
(ex.教育、旅行、SDGs、CSR、健康経営に関心が高い企業…)
- ◆ より多くのマッチング機会の創出

(参考) 令和6年度 みんなで京都市の農家を応援するプロジェクト

取組の概要

販路開拓をテーマに小売業、飲食店などあまり一次事業者と接することがない業種の「リアル」な情報を提供しながら、農家の皆さんの課題を他業種の方を巻き込んで解決方法を探っていくための交流会を実施

プロジェクトリーダー：株式会社ビオスタイルマーケット事業部 本山喜之氏

実施した交流会

- 1回目「小売業のリアルが知れる講座」（売り手・買い手視点）
- 2回目「農家の課題をみんなで考える交流会」（作り手視点）
- 3回目「令和6年度の振り返り・今後の取組」（未来視点）

参加者の意見を聴取

令和7年度以降でできることを提案

市産市消→区産区消を目指テスト販売

①商品のパック、容量の検証

京都市ならではのパッケージや容量などお客様が買いたいと思う商品を検証

②販売する新たな場所や売り方の検証

お客様が日常で使用する場所でお客様のニーズがあるかどうかを検証。通常、陳列していない時間帯に販売することも同様に検証



昨年の様子

(参考) 令和6年度 みんなで耕す「京都市アグリビジネスカフェ」プロジェクト

取組の概要

農家、企業等の方が気軽に集まり、困りごと・叶えたいことを共有、情報交換、つながりづくり、解決・実現に向けて動き出す出会いとコミュニケーションの場づくりを実施

ろくじからしゃべらnight?

人と人とのつながりから、食と農にまつわる新たなアイデアの創出を目指して「ろくじからしゃべらnight?」を開催

- 第1回：京都市アグリからはじまるこれからの食や農の学び・体験について考えよう！
- 第2回：新規就農（または若手農家）のリアルを知り、みんなで応援しよう！
- 第3回：有機農業の魅力・価値・課題について農家さんと語ろう！



昨年の様子